

## 2、高級魚まくぶの突き方・寝るポイント(砂・リーフ)

夜の電灯潜りでまくぶを狙う場合、基本的に2ヶ所のポイントがあります。

1つは、砂地。もう1つはリーフ。まず、砂地のポイントとなる場所ですが、遠浅のようになっている

砂地の海岸か、漁港の中にも環境によっては眠る場所があります。そのような場所に共通して言えるのが、①近くにガンガゼのような黒いウニがいる。または②小さいカニが沢山いる③掘りやすく、やわらかい砂地になっている。④比較的浅い。⑤所々に岩がある。というのが上げられます。

“少しドロドロしているやわらかい砂の上に、所々岩がある状況で、まくぶはその岩の下を掘ってそこで寝ています。”砂地と言う事もあり、多少濁っている場合が多く、上から見ると何もないように見えますので、上記の条件がそろった場所では1回1回潜って確かめて下さい。更に、まくぶの眠る場所は、タコと同様に1度いた場所には、しばらく日数を開けていると又同じ場所で別のまくぶが眠ります。ですから、1度見た(突いた)場所は確実なポイントになりますので、まったく同じ場所を覚えておくの良いでしょう。



そして、まくぶは大きくなればなるほど、半端に起きている場合が多く、海中電灯を照らすと頭を奥に背けたり、向きを変えたりします。ですから海中電灯は、出来るだけ奥の方にスポットをあてて、(直でまくぶを照らしてはいけない)まくぶがこちら側に向くように仕向けます。電灯が直接まくぶに当たってなくても、周りのわずかな光でうっすらと見えますので、その明りを頼りに急所を狙って下さい。狙うポイントは他の魚と同様に目の後ろになります。

続いて、リーフで探す場合のポイントです。リーフの場合も、砂地と同様に比較的浅瀬にいます。と言うのは、海面から1~4m以内がおおよその目安になります。

例えば、イノーの中の場合、分かりやすく言うと、大きな水たまりの中に、巨大な石ころが転がっているとします。ちぬまんや、あかじん等の魚はその石ころの下の方で寝ていますが、まくぶは逆で、上の方で寝ています。つまりその水たまりの中でも比較的、海面に近い場所と言う事になりますね。“砂地は岩の下・リーフは岩の上”といったイメージです。更に、岩の上の方と言っても掘れる様な砂があるわけではなく、もともとある枝サンゴの死骸の穴やくぼみを利用して、その中で寝ています。このようなポイントも砂地と同様に1度発見した場所はしっかりと覚えておくの良いでしょう。

まくぶを発見したら、砂地と同じような要領で急所を狙って突きましょう。

三大高級魚のまくぶ！是非一度は狙ってみてはいかがでしょうか。

